

T1V外部コマンドAPI

APIの概要

API接続

ThinkHub ユニット上でT1V がapi サービスを有効にすると、ポート8023のtelnet 経由でT1V APIに接続し、有効なコマンド文字列とそれに続く改行文字を生成できます。

標準的なAPIコマンド

T1V標準外部コマンドAPIを使用すると、外部コントロールデバイスを使用してThinkHub と通信し、サポートされている次のコマンドを実行できます。

SYNTAX

以下のコマンドでは、< > は必須の引数、[] はオプションの引数を示しています。実際のコマンド文字列を実行するには、< > や [] を含めないでください。次の例では、セッション名は必須の引数で、パスワードはオプションです。

wakeAndRestore [パスワード]

この構文に従った実際のコマンド文字列の例：

wakeAndRestore Session1.thinkhub

wakeAndRestore Session1.thinkhub password123

いずれかの引数にスペースが含まれている場合は、その引数を引用符で囲みます。

wakeAndRestore "Session 1.thinkhub" password123

コマンド文字列	アクションの結果	ノート
status	Api サービスの状態確認	「1」という応答は、サービスが正常に実行されていることを意味する
enableVCMODE	ハードウェアビデオ会議モードの有効化	ハードウェアのVC統合が必要
disableVCMODE	ハードウェアのビデオ会議モードを無効にする	ハードウェアのVC統合が必要
beginSession	新しいブランク・セッションを開始する	

endSession	現在のセッションの終了	
wakeAndRestore [パスワード]	指定された保存セッションのロード	.thinkhub は、すべてのセッション名の引数に付加する必要がある 例 : wakeAndRestore "Sess 1.thinkhub" 12345
volumeUp	グローバル・ボリュームアップ	ThinkHub アプライアンスで3.5 mmオーディオ出力を使用する必要がある
volumeDown	グローバル・ボリュームダウンの増加	ThinkHub アプライアンスで3.5 mmオーディオ出力を使用する必要がある
volumeMute	グローバル・ボリューム・ミュート	ThinkHub アプライアンスで3.5 mmオーディオ出力を使用する必要がある
volumeUnmute	グローバル・ボリューム・アンミュート	ThinkHub アプライアンスで3.5 mmオーディオ出力を使用する必要がある
displaysOff	パワーディスプレイ・オフ	ThinkHub アプライアンスをRS 232ケーブルで構成し、ディスプレイを制御する必要がある
displaysOn	パワーディスプレイ・オン	ThinkHub アプライアンスをRS 232ケーブルで構成し、ディスプレイを制御する必要がある
enableFullscreen	指定されたハードライン／エアコネクトウィンドウを（ない場合）キャンバスに表示し、フルスクリーン化する	例 : enableFullscreen 「ハードライン入力1」
disableFullscreen	指定したハードライン／エアコネクトウィンドウのフルスクリーンを終了する	例 : disableFullscreen 「ハードライン入力2」
closeObject	特定のハードライン／エアコネクト・ウィンドウを閉じる	例 : closeObject 「ハードライン入力3」
muteObject	ミュート可能なオブジェクト（ハードライン、ウェブブラウザ、メディアファイル）のボリュームをミュートする	例 : muteObject 「新規ブラウザ」
unmuteObject	ミュート可能なオブジェクト（ハードライン、ウェブブラウザ、メディアファイル）のボリュームをミュート解除する	例 : unmuteObject 「ブラウザ2」
loadURL [label] [x position] [y position] [width in pixels] [height in pixels]	ブラウザのウィンドウを開き、URLを読み込む - オプションの引数でラベル、サイズ、位置を指定	例 : loadURL "https://google.com" "Browser 1" 500 500 1280 720

hideTray	ThinkHub トレイを隠す	
showTray	ThinkHub トレイを表示する	

カスタムAPI

T1Vでは、製品を合理化・シンプル化する方法を常に模索しています。そうすることで、より柔軟な方法をカスタムで設定し、必要なタスクを実行できるよう改善を図っていきたいと考えています。さらにカスタム設定においては、T1Vユーザーからの情報を基に、特定のセットアップ用のコマンドを開発しています。ご協力いただける情報や価格については、メディアプラスまでご連絡ください。